

事務事業評価表

○基礎情報

課名		企画経営課		作成責任者		
施策目標	60	先を見据えた政策を実現する	坂田 哲			
常勤職員		常勤職員以外			総従事者	
管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工	
3 人	8 人	0 人	1 人	0 人	11.49 人	

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
1,008 時間	10.5 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
転出入者数	転入超過	転入超過	転入超過	転入超過	転入超過
課題解決に向けた取り組みや研究を行う専門部会・分科会の数(湘南広域都市行政協議会)	9	9	9	9	8
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	戦略的な計画立案と成果を上げる事業展開
2	総合計画の確実な進行管理
3	変化に対応した行政経営
4	行政改革の実施
5	豊かな長寿社会に向けた取り組みの推進
6	権限移譲の促進
7	他の自治体との連携による課題解決と市民サービスの向上

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生ま れた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
1	市民意識調査等に関する事務	2	0.36	一般	0	0	調査事務は実績なし。令和元年度に次期総合計画策定業務の中で実施した市民意識調査の結果やこれまでの市民満足度調査の結果を活用して、今後の進行管理に活用するデータを整理した。		調査事務は実績なし。令和元年度に次期総合計画策定業務の中で実施した市民意識調査の結果やこれまでの市民満足度調査の結果を活用して、今後の進行管理に活用するデータを整理した。	市民まちづくり満足度調査の回答率	-	-	実績なし	-		
2	中核市移行推進事業	6	0.00	一般	0	0	国・県への要望は令和2年度は実施せず。今後は、平成29年2月に市議会総務常任委員会からの中核市移行に関する政策提言の内容を踏まえ、まずは保健所の課題について対応するとともに、改めて中核市移行を目指すこととする際には、しっかりと議論を行い、検討を進めたいと考えている。		中核市移行に向けた財源確保等に関する要望活動	年6回	-	-	Z	-		

3	広域連携推進事業 (寒川連携)	7	0.29	一般	0	0	寒川町との効率的な行政運営を推進するため、茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書【第2期】に基づき、職員の人事交流、消防の広域化に関する検討など13事業に取り組み、1市1町の事務の効率化や住民サービスの向上に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響で、職員合同研修等は実施できなかったが、次年度に向けオンラインでの開催等を検討していきたい。	茅ヶ崎市・寒川町広域 連携施策推進計画書に 基づく連携事業実施数	16事業	13事業	A	変動 なし		
4	広域連携推進事業 (湘南広域都市行政 協議会)	7	1.30	一般	101,000	100,000	茅ヶ崎市、藤沢市及び寒川町で連携し、協議会の7つの部会と1つの分科会の活動を通し、2市1町の住民サービスの向上に努めた。令和元年度末で1分科会が終了したため、合計8部(分科)会となった。	課題解決に向けた取り組みや研究を行う専門 部会・分科会の数	9分科会	8部(分科)会	S	変動 なし		
5	広域連携推進事業 (平塚連携)	7	0.18	一般	0	0	平塚市との連携を図るため、広報紙の相互掲載や施設の相互利用等を実施した。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で合同研修等3事業は実施できなかったが、次年度に向けオンラインでの開催等を検討し、引き続き連携を図ってきたい。	平塚市・茅ヶ崎市広域 連携推進協議会 推進 事項に基づく連携事業 実施数	6事業	3事業	A	変動 なし		
合計					R2予算(円)	100,000								
					R2決算(円)	100,000								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析 (Check) / 今後の展望 (Action)														
<p>施策目標としている転出入者数については、これまでに引き続き、転入超過となっている。新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化を捉えながら、茅ヶ崎らしいライフスタイルを発信しつつ、総合計画に掲げた将来都市像にあるような活気あるまちを目指して、各課と連携して取り組んでいくこととする。</p> <p>各施策については、次のとおり振り返りを行った。</p> <p>「市民意識調査等に関する事務」については、新たな総合計画の進行管理のための市民意識調査を「総合計画の策定及び進行管理事務」の中で実施したため「実績無し」としている。令和2年度においては、新たな総合計画に係る市民意識調査の結果について、これまでの動向も含めて今後の推計を算出するなど、計画の進行管理のための整理を行った。今後も定期的に市民意識調査を実施していくことから、回答率の向上や業務の効率化を図るため、手法の検討を続けていく必要がある。</p> <p>藤沢市や平塚市、寒川町との広域連携事業については、職員の人事交流や施設の相互利用等は計画通りに実施した一方で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、合同研修などが実施できなかった。今後、社会的に新たな生活様式がさらに定着していくことも想定され、広域連携事業でも、オンライン研修を取り入れるなどの工夫が必要となる。</p> <p>課員の時間外勤務は、総時間で1,008時間、一人当たりの月平均は10.5時間であった。令和2年度は新たな総合計画の策定業務も落ち着き、比較的業務負担が少ない年度であったが、今後、前期実施計画の策定などで業務量が増加することなどを見据え、日頃から業務の効率化を意識し、課内だけでなく、全庁的に事務負担の軽減を図っていく。</p>														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
	－	－

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	－	「市民意識調査等に関する事務」で想定される調査事務は、「総合計画の策定及び進行管理事務」の中で実施したため、結果的に統合していく方向で検討する。他の政策的事業としては、主に近隣市町との連携に係る事業であるが、市民ニーズが多岐にわたる中、広域的に課題を解決していくための枠組みは必要不可欠であり、休廃止を検討するには至らないものと判断した。

